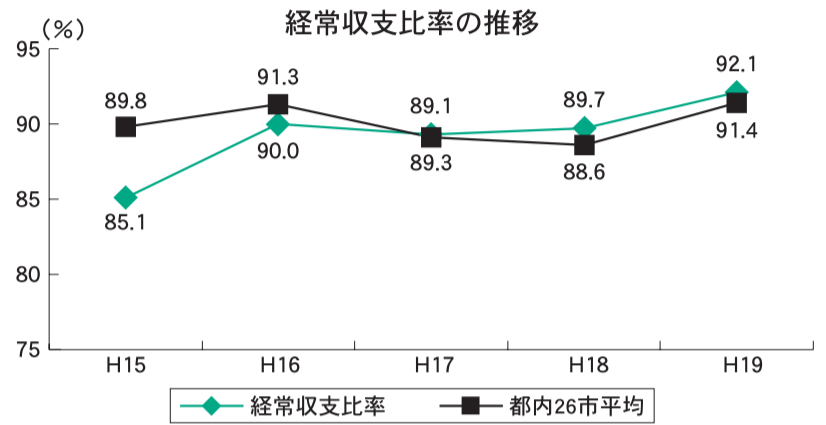


基金の平成19年度末現在高（平成20年3月31日現在）は、前年度比14億7,987万円減の107億2,752万円となりました。これは、平成18年度末の現在高122億739万円に対し、平成19年度は20億4,749万円を積み立てた一方、35億2,736万円を取り崩したことによるものです。

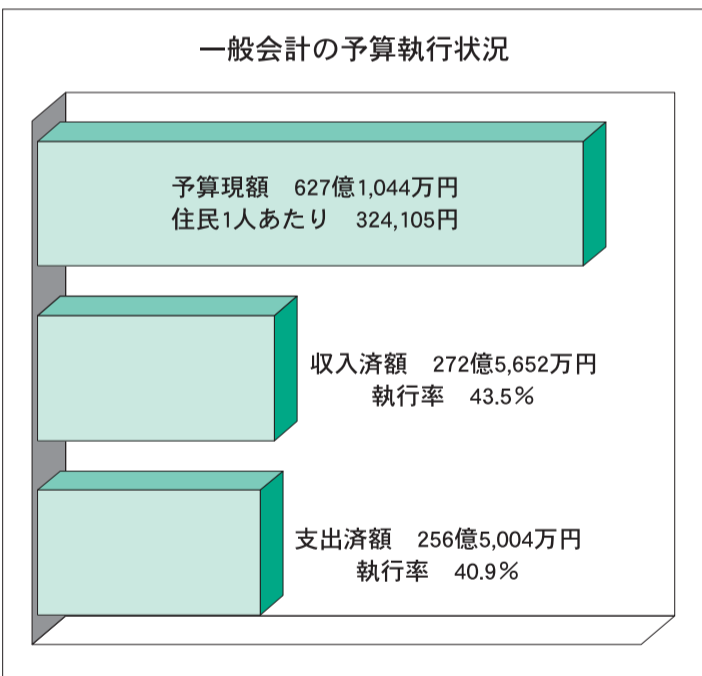
とくに、特定目的基金は13億4,604万円減となっていますが、これはまちづくり整備基金において実施事業数が多く、取崩額が増加したことなどが大きく影響しています。

経常収支比率は、財政構造の弾力性を示す指標です。この比率が低いほど、市が自由に使える財源が多く、新たな市民ニーズに対応する余力があるといえます。平成19年度は、下水道事業特別会計への繰出基準の適用が変更されたことや、公債費の増加などの影響により、前年度から2.4ポイント増の92.1%となりました。平成17年度以降、都内26市の平均水準に達しておらず、比率が上昇傾向にあることから、改善に向けて取り組んでいるところです。



平成19年度の財政白書、バランスシートなどは、市HP、情報公開コーナー（両庁舎1階）でご覧になれます。

平成20年度上半期の予算執行状況

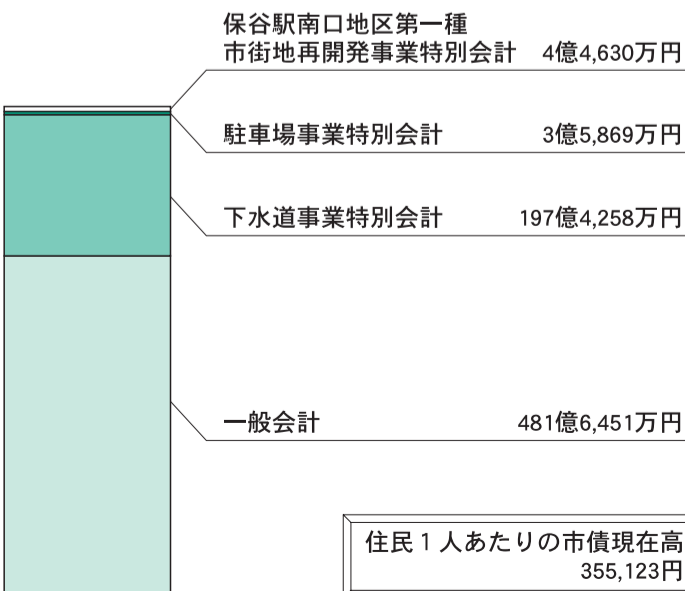


各特別会計の予算執行状況（平成20年9月30日現在）

	予算現額	収入済額	収入率 (%)	支出済額	執行率 (%)
国民健康保険	185億4,060万円	74億9,503万円	40.4%	72億4,646万円	39.1%
下水道事業	86億6,553万円	47億7,635万円	55.1%	43億2,974万円	50.0%
受託水道事業	8億4,143万円	2億3,672万円	28.1%	1億7,346万円	20.6%
中小企業従業員退職金等共済事業	1億7,762万円	1億5,847万円	89.2%	1,736万円	9.8%
老人保健（医療）	17億1,916万円	12億9,634万円	75.4%	11億9,739万円	69.6%
駐車場事業	1億8,440万円	9,209万円	49.9%	6,989万円	37.9%
介護保険	103億7,655万円	41億1,390万円	39.6%	37億8,654万円	36.5%
保谷駅南口地区第一種市街地再開発事業	28億9,185万円	12億3,652万円	42.8%	6億8,898万円	23.8%
後期高齢者医療	30億2,224万円	13億5,201万円	44.7%	8億6,868万円	28.7%
特別会計合計	464億1,940万円	207億5,743万円	44.7%	183億7,849万円	39.6%

市債現在高

687億1,208万円
（平成20年9月30日現在）



財産の状況（平成20年9月30日現在）

区分	現在高	備考
土地	721,502㎡	
建物	313,471㎡	
出資による権利 [※]	8億9,562万円	団体への出資金 [※]
物品	821点	購入価格50万円以上の備品
債権	61万円	生活つなぎ資金貸付金
基金	118億円	財政調整基金など16基金



平成20年度一般会計当初予算は611億3,000万円、各特別会計当初予算合計は414億6,730万円、合わせて1,025億9,730万円でしたが、6月と9月に増額補正をした結果、9月30日の時点で一般会計は627億1,044万円、各特別会計合計は464億1,940万円、合わせて1,091億2,983万円となりました。一般会計と各特別会計の執行状況および市の財産、市債などは上記のとおりです。

「住民1人あたり」とは平成20年9月30日現在の市の人口（193,488人）により計算しています。